2025 年度 会計報告

文京区こども宅食は、官民７団体がパートナーシップを組み、コンソーシアムを形成して運営しています。
主な運営資金は、ふるさと納税の仕組みを活用したがバメントクラウドファンディングにより集めています。しかし、ここ数年は寄付の目標額を下回っている状況です。2025 年度から児童虐待防止対策等総合支援事業費国庫補助金の活用を開始しました。併せて、文京区の一般財源をこども宅食補助金の原資としています。

コンソーシアム全体における収入と支出の比較（財源別）　（単位：円）

項目	収入	支出	差引	説明
文京区補助金	61,199,974	48,403,043	12,796,931	全世帯図書カード配付含む
文京区補助金以外	1,208,995	1,208,995	0	村上財団からの支援金の繰越金
合計	62,408,969	49,612,038	12,796,931	

文京区補助金（支出）の財源　（単位：円）

項目	支出
ふるさと納税	17,934,207
国庫交付金	17,400,000
文京区一般財源	13,068,836
合計	48,403,043

ふるさと納税の状況

ふるさと納税について、当初予算額（59,830,000 円）とふるさと納税サイト「ふるさとチョイス」の手数料の合計額である 67,070,000 円を目標にご寄付を募り、「ふるさとチョイス」や窓口を通じて計 34,299,000 円のご寄付をいただきました。寄付金については、全額文京区の「子ども宅食プロジェクト基金」に積み立てた上で管理されています。

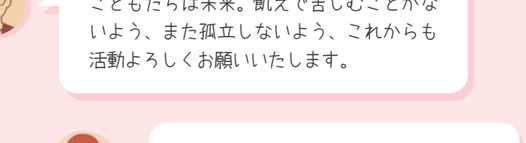
予算額の使いみち

文京区補助金における収入と支出の比較　（単位：円）

項目	収入	支出	差引	前年度支出計	説明
人件費	22,072,920	21,266,920	806,000	22,515,960	内訳は人件費に関する右グラフ＜人件費の内訳＞のとおり
食料購入費	14,595,000	9,898,302	4,696,698	12,439,518	通常配送 685～796 世帯 × 全６回、臨時便１回
支払い手数料	46,240	6,885	39,355	12,935	振込手数料等
公式HP等制作費	481,800	320,912	160,888	320,945	公式HP保守・運用費用等
システム費	1,664,580	1,716,435	△51,855	1,755,592	グループウエア使用料、LINE 配信システム利用料
委託費	3,067,200	1,937,200	1,130,000	3,067,200	弁護士顧問料、LINE 相談業務委託費等
宅配準備費	15,805,319	11,699,310	4,106,009	12,842,291	宅食配送に係る費用等
広告宣伝費	1,726,000	498,303	1,227,697	1,037,044	WEB 広告、広告用記事作成費等
調査費	950,000	700,000	250,000	749,000	社会的インパクト調査事務費等
事務費	502,050	148,251	353,799	145,595	キャンペーン発送費用、事業報告会運営費用等
印刷費	238,865	160,525	78,340	165,701	アニュアルレポート、利用者への告知文等
保険料	50,000	50,000	0	50,000	福祉事業者総合賠償保険
予備費	0	0	0	0	
合計	61,199,974	48,403,043	12,796,931	55,101,781	※差引額（残額）は文京区へ返金

●61,199,974 円の補助金が交付されましたが、実際にかかった経費は 48,403,043 円でした。差額である 12,796,931 円は文京区へ返納しました。

文京区補助金における費目ごとの支出詳細



※1 人件費はこの活動を支えるコンソーシアムのスタッフ 15 人分（文京区及び村上財団の職員を除く 2026 年３月時点の人数）のものです。
※2 委託費には、社会的インパクト評価におけるアドバイザー費用、弁護士顧問料、LINE相談業務委託費等を計上しています。
※3 宅配準備費には、配送料のほか食品梱包に必要な資材経費も含まれています。

寄付者さんの声

- 学生時代を文京区で過ごしました。
  些かですがお役に立てれば嬉しいです。
- こどもたちは未来。飢えで苦しむことがないよう、また孤立しないよう、これからも活動よろしくお願いいたします。
- 心ばかりですが今年も寄付させていただきます。
  物価高の中、本当に困っているご家庭に少しでも届けていただければ幸いです。
- 日本の未来を築くこどもたちのためにがんばってください。



こども宅食
2025
事業報告書



2025 年のふるさと納税で 文京区の「こども宅食」を応援してくださった皆様へ

文京区長　成澤廣修

「こども宅食」は、2017 年に文京区で誕生しました。
その運営主体であるこども宅食コンソーシアムでは、「見えない貧困を見えないまま支援する」をコンセプトに、経済的にお困りのご家庭に寄り添いながら活動しています。

2025 年度は、延べ約 5,300 世帯に「こども宅食」をお届けしました。利用世帯からは、食費負担の軽減に加え、「家庭の食事内容に変化が生まれた」「生活に必要なものに支出をあてられた」など、多くの喜びの声をいただいております。本事業が、子育て世帯の暮らしを支える一助となっていることを大変うれしく思います。

物価高騰が続く中、温かいご支援をいただき、心より御礼申し上げます。今後も、ご家庭への支援を通じてこどもたちの明るい未来へつなげられるよう、また、寄附者の皆様のご期待に応えられるよう精一杯取り組んでまいります。引き続きのご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

こども宅食

2025 年度も あたたかいご支援ありがとうございました！

昨年度も支援を必要とする約 750 世帯のご家庭に、一年を通じて
食品や日用品をお届けすることができました。本当にありがとうございます。

皆さんの思いが、孤立する親子に笑顔と安心、
そして「ひとりじゃない」を届けます。
引き続き、応援よろしくお願いいたします。

こども宅食への
寄付はこちらから

2025 年度の主な活動



配送実績について

2ヶ月に1回の定期的な配送に加え、夏休み増量便、冷凍便、臨時便の配送など様々な形で食品や日用品をお届けしました。

配送回数	寄付企業・団体数	平均配送世帯数 / 回	年間累計配送世帯数
7回	36社	754世帯	5,278世帯
※臨時便含む		※最大配送数796世帯	

配送以外の活動について

配送だけでなく、体験機会の提供やおもちゃのプレゼントなども行っています。また、LINE での情報配信・相談対応などのコミュニケーションを通じて、ご家庭が相談しやすいつながりづくりを心がけています。

情報配信



情報配信の事例

年間約 71回

※キャンペーンのご案内含む

給付金や奨学金、行政サービスの情報など、子育て世帯に役立つ情報を定期的に配信しています。

キャンペーンの実施



年間 13回

コンサートやスポーツ観戦、体験型イベントへのご招待のほか、おもちゃのプレゼントを実施し、合計で 235 世帯へ様々な体験機会を提供しました。

相談支援



年間のべ 260件

※LINE で開始されたトーク数でカウントしています

社会福祉士など有資格の専門スタッフが、主に LINE を通じて寄せられる子育てや生活のお困りごとなどのお悩み相談に対応しています。

利用家庭のこどもたちに向け体験型イベントを実施

支援企業や団体と連携し、利用家庭のこどもたちが実際に参加できる体験型イベントを実施しました。自ら見て、聞いて、挑戦する経験は、こどもたちの自信や可能性を広げる大切な機会となります。すべてのこどもたちが豊かな体験に出会えるよう、引き続き活動を続けてまいります。

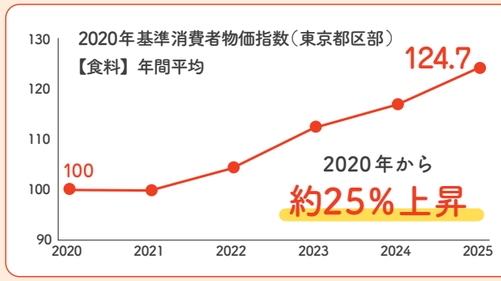


食育イベント「みそ玉づくりとごはんの食べ比べ体験教室」



三菱食品主催「食品流通を学ぶツアー」

ご利用家庭を取り巻く社会状況



2025年度も物価上昇の影響は深刻さを増し、東京都区部の食品の物価（年間平均）は、2020 年と比較して約 25%上昇しており、子育て世帯の家計を逼迫する要因となっています。

参考：総務省統計局　2020 年基準消費者物価指数 東京都区部 2026 年 5 月分（中旬速報値）



ご利用家庭の変化

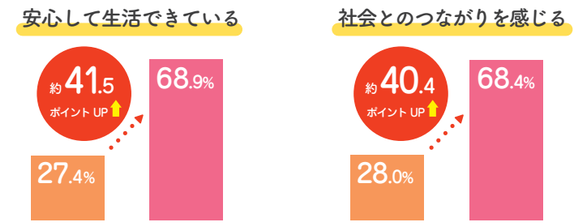
お子さんの態度に 変化※があった

約 62 %



※「笑顔が増えた」「会話が増えた」「より前向きになった」等

文京区こども宅食の利用により…



ご利用家庭の声

こども宅食が来ると、いつもこどもたちは大喜びです。親としても昨今の物価高・米価の高騰のなか、いつも本当に助かっています。

頼れる身内がおらず、日々のひとり育児と仕事の両立で心が精一杯になりますが、こども宅食にとても心が救われています。私を気遣ってくださっている、心配事があれば繋がる場所があるんだと感じられ、また明日も前向きに頑張ろうと思えます。

図書カード、ありがとうございました。クリスマスにこどもへ本を買いました。好きなものを選べるのは嬉しいですね。

家計だけでなく、家事にかける時間や労力の面でも大変助かっています。

間近でオーケストラ演奏を聴くことができ、こどもも大喜びでした。日記にも書いていて、とても思い出に残ったようです。こども宅食のおかげで、貴重な体験の機会をいただき感謝しています。

こどもたちからも手書きのメッセージが届きました！

